



## 感動的な持久走大会

# 白水台地の陽光「さん」



1月30日(木)に行いました持久走大会には、保護者の方々、地域の皆様、多数応援に来ていただき、ありがとうございました。天気を少し心配しましたが、開始前には晴れ間が見え、良い天気になり、子どもたちは、持てる力を精一杯発揮することができました。

この日の走りももちろんすばらしかったと思いますが、私は、練習の時から子どもたちの走りを見てきましたので、この大会にける一人一人の思いを色々と想像しました。1年生にとっては、初めての持久走大会で、緊張感と頑張るぞという気持ちで一杯だったと思います。しかし、自分のペースをつかむために、12月から練習に取り組んできていましたので、全員が目標に向かって良いリズムで走ることができました。応援してくれた周りの方々のお陰で、練習以上の記録を出した児童もいたかと思えます。2年生は、昨年と同じ距離ですから、少し余裕はあったかと思えますが、知っている分、ペースを考えながらも、少しでも良い記録を目指している姿が表れていました。3年生は、昨年に比べると、距離が2倍に増えていますので、途中きつい時もあったかと思えます。しかし、4年生に付いていこうと、みんな無我夢中で走っていました。4年生は、距離感がつかめていて、練習の成果を十二分に発揮していました。3年生に対して、お手本になる一生懸命な姿が随所で見られました。5年生は昨年に比べて、鼻ぐり公園を走る距離が2周増えています。鼻ぐり公園5周ですので、持久走が苦手な子どもにとっては、きつい時間が続いたことだと思います。しかし、そんな時でも、あきらめずに止まらないで全員が走りきりました。そして、得意な子どもにとっては、最上級生の6年生に挑戦できる機会でもありました。6年生を時にはリードしたり、時には後を追ったり等、来年につながる走りことができました。6年生にとっては、小学校最後の持久走大会でした。全員が全力を出し切り、思いのこもった良い走りことができました。さすが6年生の走りでした。後に続く後輩たちが、これからもすばらしい走りを見せてくれることだと思います。それから、5・6年生の走りの中では、途中、足を痛めた子どもがいましたが完走しました。そのことも素晴らしいことですが、運動場に入ってきたその子を全児童が大きな声で応援したり、同じ学年の子と一緒にトラックを回ったりしました。保護者や地域の方々も残られて応援されました。地域も含めた南小全体のつながり(絆)の強さが見られた瞬間でした。

この持久走大会をとおして感じたことは、南小の子どもたちは、先輩たちの姿を見ながら、日々成長をしているということです。また、放課後に自主練習している子どもたちも見かけましたので、自分を高めたいという気持ちを持っている子どもがたくさんいるということです。これらの良さを、全職員でしっかり伸ばしていきたいと思えます。一人一人が目標に向かって素晴らしい走りをしました。家庭におかれましても、精一杯誉めてください。また、せっかく体力が高まっていますので、ご家庭でも運動する機会を作っていただくとありがたいです。



